

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来!チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 8月16日放送分 京都発! 町工場革命~職人技をデジタル化して大変身~

8月16日放送分 京都発! 町工場革命~職人技をデジタル化して大変身~

8月16日(TX・TVO・TSC)

17日(TVA・TVH・OX・TVQ・RCC・TVQ・OTV)

18日(BSJ)

山本精工株式会社(資本金1,200万円、従業員数31名)は、精密機械で使用されるアルミ部品加工を手がける企業。職人個人の経験に依存してきた技術をデータベース化して、経験の浅い従業員でもベテランに引けをとらない加工が簡単にできる体制を作り上げた。単品加工・超短納期の仕事に強く、業界平均を大きく上回る利益を誇る当社の姿をご紹介します。

京都発! 町工場革命

~職人技をデジタル化して大変身~

[視聴覚教材No. TV15-19](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



町工場を訪ねて京都にやってきた志垣さん。町工場のイメージを町の人に聞いてみると...

「キツイ」、「楽なところはない」などマイナスのイメージが多い。ところが、今日訪問するのは、そんなイメージを覆す『町工場』の山本精工(株)。





こちらが山本精工(株)の山本副社長。

アルミの一枚板を削って作った「トンボ」。優れた加工技術をかいま見ることができるが、「精密・高品質はあたり前。この作品で当社の遊び心を見てもらいたい。」と山本副社長はいう。



会社内を案内してもらう志垣さん。ここはオフィス・・・ではなく、『工場』？

当社では、機械制御や製造加工プロセスなどを全てコンピューターにプログラミングすると、そのプログラムに従って、加工現場にある機械が自動的に作業を行うようになっている。

POINT:「職人技術をデータベース化し作業工程は全てプログラミングする」



加工現場。プログラミングさえすれば、



200本の刃を装備した機械が自動的に加工を始めるため、夜間・休日の作業が可能。それを聞いた志垣さん。「無人で心配は？」と尋ねる。

POINT:「NC工作機械(数値制御工作機械)により24時間無人加工が実現した」



もちろん心配だった山本副社長は、自宅で機械の状態をモニタリングできる設備を導入。「人が休む時に機械を動かすことが当社の差別化。その利点は守らなければならない。」と山本副社長はいう。

POINT:「無人工場化で生産性をあげる」



(有)日双工業の西田社長。西田社長に会うまで、山本副社長は夜中まで機械を動かして働くのが当たり前であった。



そんな山本副社長に西田社長は、時間とお金の価値から考えてやり方がおかしいと提言。その言葉に納得した山本副社長は工場の自動化・利益率の高い製品生産へのシフトを目指した。

POINT:「試作品など利益率の高い単品生産を専門的に請け負う」





「より利益率の高い製品の製造が日本に残るもの。20年前に決断して良かった。」と山本副社長は語った。

[ひとつ上の階層へ](#)

[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN